

令和4年度活動計画(案)

事業視察のお知らせ

令和4年9月下旬開催予定

※コロナ収束の状況により内容変更あり

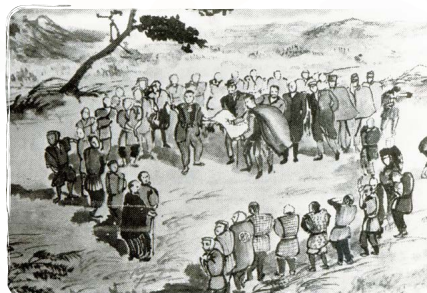
偉大なる先人たちの 歴史に触れよう!!

～那須野ヶ原～

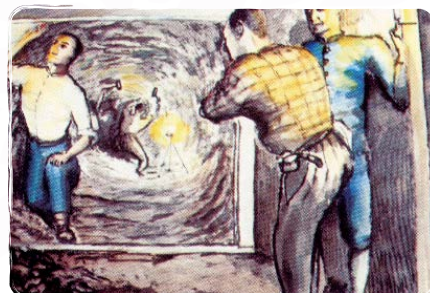
世界かんがい施設遺産登録【那須疏水】

百聞は
一見に
如かず

私たちの目で、
確かな知識を、
そして活動の輪を
広げませんか?



伊藤博文・松方正義、烏ヶ森で説明を受ける



那須疏水工事



那須疏水西岩崎地点、満開の土手桜



蛇尾川サイフォン出口 模型

写真提供:
那須野ヶ原土地改良区連合

世界かんがい施設遺産とは..

地域の発展に貢献してきたかんがい施設の歴史や発展を明らかにし、その理解醸成を図ると共にかんがい施設の適切な保全に資するため、2014年(平成26年)国際かんがい排水委員会(ICID)が創設した国際的な認定制度です。平成29年10月10日、先進的な技術を活用し築いてきた貴重な施設として、那須疏水が、栃木県内初の世界かんがい施設遺産に登録されました。

『とちぎ水土里ネット女性の会事務局』

宇都宮市平出町1260番地 Tel.028-660-5701

皆さまからのご意見をお寄せください!

『女性の会』の私たちみんなが主役です!!



とちぎ水土里ネット

女性の会 2022 MARCH

令和3年度
第2号



「とちぎ水土里ネット女性の会」幹事会を開催!!

令和3年7月13日、「とちぎ水土里ネット女性の会」幹事会を開催しました。

新型コロナウイルスが猛威を振るい、会員との情報交換や活動の場が制限される中、私たちの地域力をどう活かしていくか、私たちが考える土地改良

事業の未来や身近に感じる課題につ

いて、意見を交わしました。現在

では26の都道府県で「女性の

会」が設立されており、コロ

ナ禍に負けない活発な活動が

展開されています。

この日は、令和2年度

事業報告や令和3年度の

活動計画について議論い

たしました。



石川会長挨拶

議事説明

上山&星野相談役からの

アドバイス



上山相談役

規模や環境も違えば、土地改良区の悩みや課題も異なるはず。言葉にしないと伝わらない。情報を共有し、解決策を見出していくことが大切!!



星野相談役

この女性の会は、自分自身が変われる訓練の場。皆さんは、地域の代表としてこの場に来てるはず。地域の課題や自分の思っていることをまずは声に出そう!!

「とちぎ水土里ネット女性の会」定期総会を開催!!



「全国水土里ネット女性の会」総会が開催!!

2月10日、令和3年度全国水土里ネット女性の会総会がWeb配信で開催され、全国から約160名が出席し、共通意識を持って活動する上で必要な情報を共有しました。本県からは、石川房代会長(小山水土改良区事務局長)、植木美穂幹事(水土里ネットとちぎ)の2名が出席いたしました。

- 議事**
- 第1号議案 役員の改選について
 - 第2号議案 令和3年度活動報告について
 - 第3号議案 令和4年度活動計画について



全国の設置状況

平成17年度
①山口県「やまぐち水土里ネット女性の会」

平成20年度
②千葉県「ちば水土里ネット女性の会」



平成29年度

- ③宮城県「みやぎ水土里ネット女性の会」
- ④山梨県「やまなし水土里ネット女性の会」
- ⑤富山県「とやま水土里ネット女性の会」
- ⑥鳥取県「とっとり水土里の女性の会」
- ⑦宮崎県「日本のひなた水土里ネット女子会」

平成30年度

- ⑧青森県「あおもり水土里ネット女性の会」
- ⑨和歌山県「わかやま水土里ネット女性の会」
- ⑩熊本県「くまもと水土里ネット女性の会」
- ⑪大分県「おおいた水土里ネット女性の会」

令和元年度

- ⑫秋田県「あきた水土里ネット女性の会」
- ⑬山形県「やまがた水土里ネット女性の会」
- ⑭群馬県「ぐんま水土里ネット女性の会」
- ⑮徳島県「あわ水土里女性の会」
- ⑯香川県「かがわ水土里ネット女性の会」
- ⑰長崎県「ながさき水土里ネット女性の会」

令和2年度

- ⑱栃木県「とちぎ水土里ネット女性の会」
- ⑲兵庫県「ひょうご水土里ネット女性の会」
- ⑳愛知県「あいち水土里ネット女性の会」
- ㉑岡山県「おかやま水土里ネット女性の会」

令和3年度

- ㉒島根県「しまね水土里女性の会」
- ㉓岩手県「いわて水土里ネット女性の会」
- ㉔岐阜県「ぎふ水土里ネット女性の会」
- ㉕京都府「京都水土里ネット女性の会」
- ㉖埼玉県「さいたま水土里ネット女性の会」

女性参画!!

2021年度からの第5次男女共同参画基本計画で、2025年度までに女性理事10%という数値目標が掲げられました。本県においても、2021年度からの5か年において、「第5期とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン」が策定され、女性の意識と能力向上はもとより、男性の意識改革を行動に繋げる取組み並びにワークライフバランスの推進、更には、魅力ある農村に向けた男女共同参画社会の形成が推し進められています。

8月12日、令和3年度定期総会を書面にて開催し、全ての議事について承認されました。

議事(1) 令和2年度事業報告について

議事(2) 会則の変更について(総会制の廃止)

議事(3) 令和3年度活動計画について

総会后、岩崎由美子福島大学行政政策学類教授、進藤金日子都道府県水土里ネット会長会議顧問からそれぞれ熱いメッセージをいただき、最後にグループ懇談を行いました。

本県は水土里ネットいばらき、水土里ネットぐんまと①働き続けたい水土里ネットに必要なもの、②水土里ネットを未来につなぐためにについて、意見を交わしました。皆さんは、何が必要だと感じていますか???

話題1 働き続けたい水土里ネットに必要なもの

自分の思っていることを自由に発言できる環境(特に若い人たちが遠慮せずに発言できる環境作り)



今まではこうだったとか、固定観念にとらわれていることが多い。思い込みを捨てて、若い人たちの意見を吸い上げていくことが必要。



これからは、家庭の事情を持ち込みながら働いていく時代である。福利厚生等の整備が整っていないと、今後入社する人も、入ってきても働き続けたいと思わないのでは?



話題2 水土里ネットを未来につなぐために

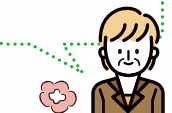
地域の理解が必要。多面的機能をもった土地改良施設について、長寿命化や減災防災の面から見ても、地域の人たちに大切さを理解してもらうことが必要。



土地改良区の職員の後継者不足や、人手不足。理事長等は高齢者が多く、世代交代も必要である。



土地改良区・地方土連がお互いに相談に乗ったり、協力し合うことが必要。



岩崎教授

『女性の参画による農業・農村の活性化と水土里ネットへの期待』

女性の声の反映は、「物事を決める場=方針決定の場」への参画から始まる、女性たちの抱える課題を「見える化」することの重要性を大学研究室の取組事例を交えながら話され、水土里ネット女性の活力が、時代時代に即した共同性を持つ地域社会と農業従事者だけでなく、多様性を持つ共同性の担い手となる仕組みを作り出すプラットフォーム的な存在になれると期待する。



進藤会長会議顧問

『田畑・農村を国会へつなぐ～農業農村の振興に向けて～』

「女性の力が農業・農村を元気にする」これは私の持論。農業への参画に必要なのは、農業の視点はもちろんのこと、経営の効率化、作業環境の整備、6次産業化、そして農業女性の消費者の視点や生活者としての視点。地域の中でネットワークを活かし、一緒に活動する。その輪を全国に広げ明るく元気に活動してほしい。



農業者個人



男女とも自信と誇りを持ち、互いに認め合い、自己実現を図っている

生活・経営



仕事と生活の調和が保たれ、個々の能力が発揮されている

農村社会



誰もが住みよさを実感できる豊かで魅力ある農村が実現されている